

柁城校区コミュニティ協議会のあり方と校区の発展を目指して

柁城校区コミュニティ協議会会長 徳重 武秀

校区コミュニティ協議会の発足一年目は、これまでの柁城校区公民館の事業を継続して校区の皆様のご参加を頂き、多少なりとも成果が得られたものと感謝申し上げます。

コミュニティとは、地域が抱える問題を少しずつ解決して、地域を盛り上げ発展させることと考えます。

柁城校区コミュニティ協議会の組織に、環境・安全部会を設置しました。校区内には幾つかの史跡がありますが、柁城小学校の近くにありす護国神社は歴史的にも重要な場所で環境部会では神社境内の清掃に取り組んでおり、今後とも美化活動は続けていくべきかと考えます。

また少子高齢化が進む今日、地域の一体的な協力は不可欠であります。その為には各自治会で語り合い色々なご意見等を校区コミュニティ協議会にご提案下さい。

コミュニティ協議会では、各種の研修を計画し校区の特色ある地域づくりを校区住民の皆様や各種団体と連携を図りながら進めてまいります。これからも、皆様の色々なご意見やご要望、又自治会活動状況等をお寄せくださいますよう宜しくお願いいたします。

なお、協議会だよりに皆様からの「お声コーナー」を設ける事に致しますので振るってご投稿下さい。

「反省をふまえて前進を!!」

健康福祉部

部会長 樫山 紀男

コミュニティ協議会とは、地域振興を担う組織だと理解しています。その役割の中に地域の親睦を図ることがありますが運動会やグランドゴルフ大会は、その役目を十分果たしたと思います。或る自治会長の反省の中に「もう少し視点をかえて計画したら」とありましたので、いろいろ情報収集に努めて勉強し、検討していきたいと思います。一方では、一人暮らしの見守り、声かけ運動や子育て支援に関しては何も出来ず大きな課題をのこしました。反省の中に「行事への参加のみで活動して取りくむようなものがない」とありました。

健康づくりとスポーツに関する事業はどうしても行事になってしまいますが活動として取りくむようなものを是非考えてみたいと思います。

何事も二年目が大変とか、しっかりと反省をふまえて、一歩でも二歩でも前進出来るよう努力してまいります。



1. 防災訓練

環境・安全部会

部会長 吉村 正和

平成 27 年 11 月 29 日（日）始良市危機管理課・消防署・消防団の指導協力を得て、防災訓練を実施。「わが身は自分で守る」ことを、目標として校区の皆様にご案内。

東日本大震災の救援活動に参加された経験から、防災について考える力・危機を創造する力・判断できる力・行動に移す力を身につける必要性が解説されました。

そして、消防署員による救命法の解説と火災の初期消火のあり方、消防団員によるポンプ操法の紹介をしていただきました。

参加者の皆様には、**平時の準備→危機時（災害時）の対応**、さらに**防災についての意識を高める→過去に学ぶ→将来に備える**などのことを認識いただけたことでしょう。

環境・安全部会でも防災訓練の必要性を感じ、今後も実施していく計画です。多数の皆様のご参加をお願いします。「わが身は自分で守る」



消防署員の救命法解説



熱心に聴講する参加者



消防署員の初期消火説明



消火器の使用訓練

放水実演紹介



2. 環境美化活動

平成 27 年 12 月 5 日（土）2 回目の清掃活動を実施。師走に入り何かと忙しい中、協議会の運営委員と五つの部会員に協力、参加をいただき、護国神社境内の落ち葉撤去作業に取り組む。

肌寒くなった 12 月初旬の早朝、トラックやビーパー、そして熊手やスコップなどを持参して、全員で協力し、体力の許す範囲の作業をしました。参加者の努力でかなりの撤去作業が進み、綺麗にすることが出来ました。満足のいく成果を得ましたので、今後も計画し、美化活動を推進することを確認できました。



明けきれない早朝作業



垂れ下がる枯れ枝などを撤去



大量の落ち葉をかき集める



語らいながら楽しい美化活動



活動の達成感を味わってポーズ